

【試験結果速報】

株式会社トリニティエナジー 様

2021.6.16

(一財)北里環境科学センター

1. 試験名

浮遊ウイルスの除去効果確認試験(A型インフルエンザウイルス、200Lチャンバー)

2. 評価ウイルス

A型インフルエンザウイルス(Influenza A virus, H1N1, A/PR/8/34, ATCC VR-1469)

3. 試験品

ドクターエアバイタル(型番:DAV-401)

4. 試験方法(概要)

＜ウイルス除去試験＞

- ① 0.2 m³ 試験チャンバーに試験品を設置した。
- ② チャンバー内に、ウイルス液を噴霧し、初発の浮遊ウイルスを採取した後、試験品を作動させた。
- ③ 所定時間ごとにチャンバー内の空気をインピンジャーを用いて採取した。
- ④ 採取した空気中のウイルス感染価を測定した。

5. 試験結果

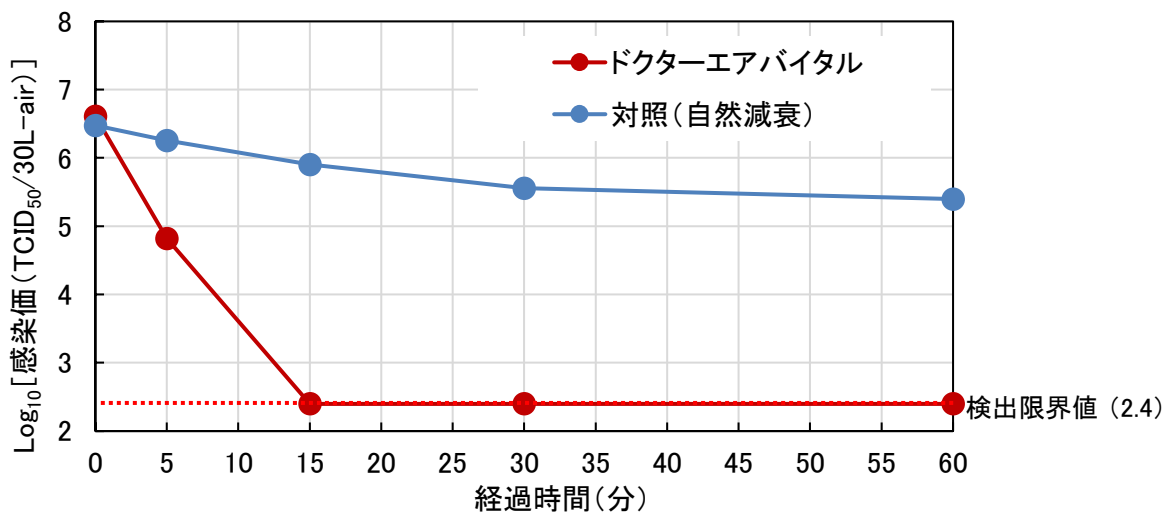
なお、下記速報値は正式報告時に表現および数値に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

5-1. 浮遊インフルエンザウイルスの経時変化

試験品	試験時間				
	0(初期)	5分	15分	30分	60分
ドクターエアバイタル	4.1×10^6	6.6×10^4	$<2.5 \times 10^2$	$<2.5 \times 10^2$	$<2.5 \times 10^2$
対照(自然減衰)	3.0×10^6	1.8×10^6	8.0×10^5	3.6×10^5	2.5×10^5

感染価単位: TCID₅₀/30L-air

検出限界値: 2.5×10^2 TCID₅₀/30L-air



浮遊インフルエンザウイルスの経時変化

以上